



第3回 観たいのに観れなかつた映画賞

～いやあ、時間がなくて～

投票結果報告書

2025年3月10日(月)

◆開催概要

映画賞主催団体:NPO法人映画業界で働く女性を守る会(swfi)

映画賞タイトル:観たいのに観れなかつた映画賞～いやあ、時間がなくて～

投票資格:すべての働く女性(性自認女性の方)。年齢問わず。

投票手法:インターネット投票(Googleフォーム)

2024年1月1日～12月31日に公開された日本映画(実写・アニメーション)から「劇場で観た
かつのに観れなかつた映画」を選択して投票(複数回答可)

投票期間:2025年1月24日～2月14日

設問数:全12問 回答時間平均6～9分

回答数:367名(うち無効票8票)

SNSハッシュタグ:#MME賞 #MME賞2025 #働く女性で作る映画賞

子供を育てながら働く映像業界を目指し、業界全体の労働環境の改善に取り組む特定非営利活動法人映画業界で働く女性を守る会 (<https://swfi-jp.org/>) 通称 swfi (スウフィ) では、すべての働く女性(性自認が女性)が当事者となって作りあげる映画賞、第3回「観たいのに観れなかつた映画賞～いやあ、時間がなくて～」(略称「MME賞」)を開催し、367名の方からの投票を頂きました。(うち無効票8票)

その投票結果の上位作品と、働く女性たちがどういった状況であれば映画館に観にいけたのか、また映画館に求めるサービスは何か、ここに結果をご報告します!

🏆 第3回観たいのに観れなかつた映画賞上位作品

🥇 第1位 🥈 映像部門賞1位 「52ヘルツのクジラたち」 監督:成島出

🥈 第2位 「あんのこと」 監督:入江悠

🥉 第3位 「ナミビアの砂漠」 監督:山中瑠子

本映画賞は授賞式は開催いたしませんが、上位作品には3月中に記念品のお渡し&意見交換の場を設ける予定です。レポートもご期待ください!

◆以下URLまたは右のQRコードからこの映画賞に関わる資料がダウンロードが可能です。

<https://swfi-jp.org/posts/news/3rdmmeawards-result/>

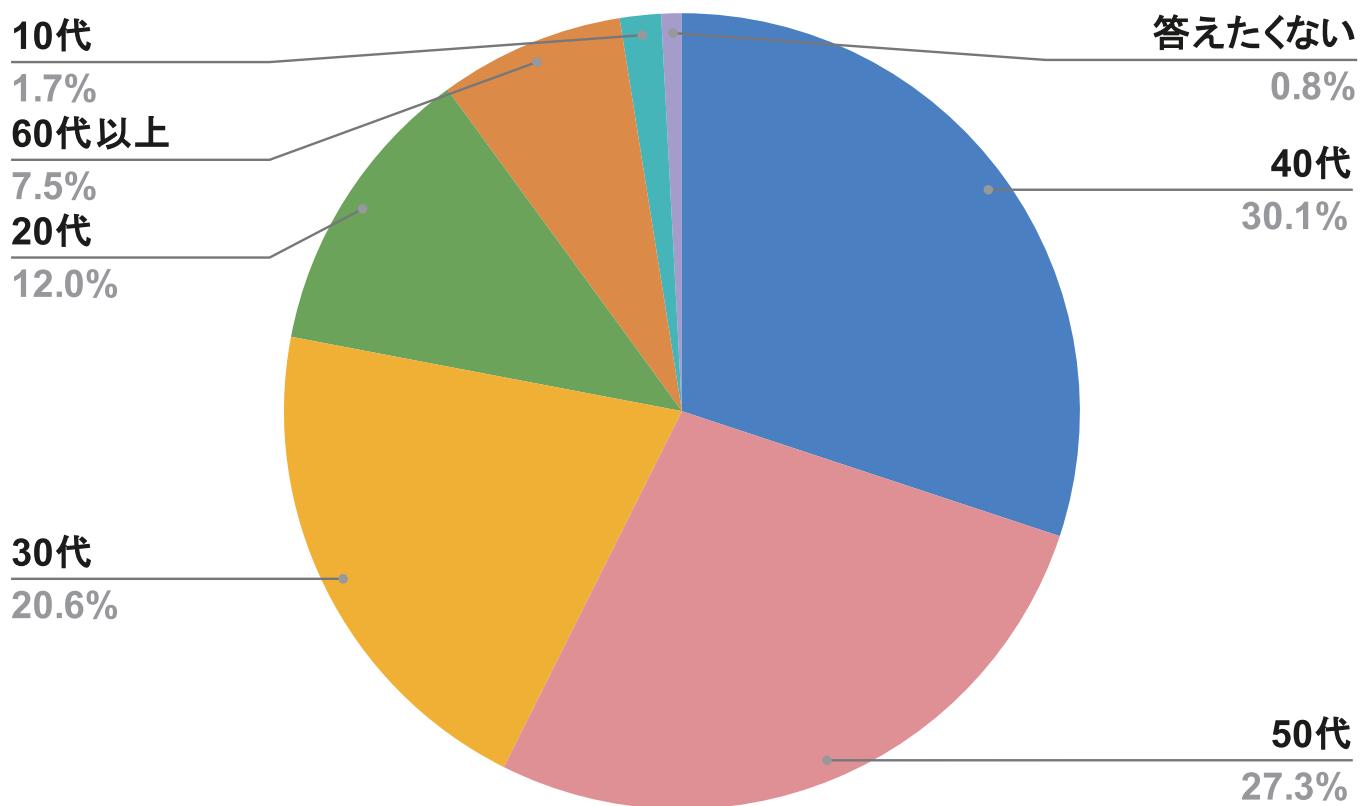
第3回「観たいのに観れなかつた映画賞」リリースページ

<https://swfi-jp.org/posts/news/3rdmmeawards/>

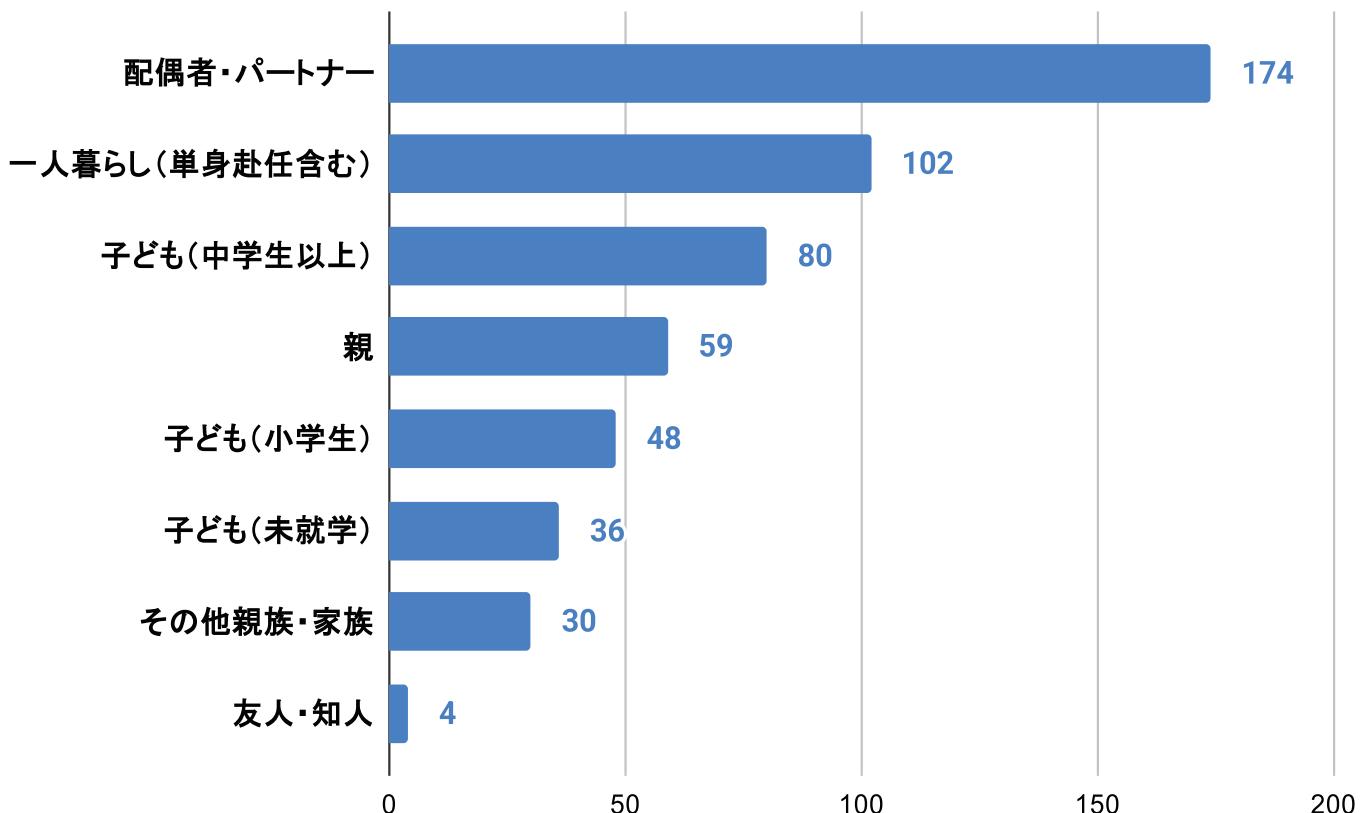


◆投票結果

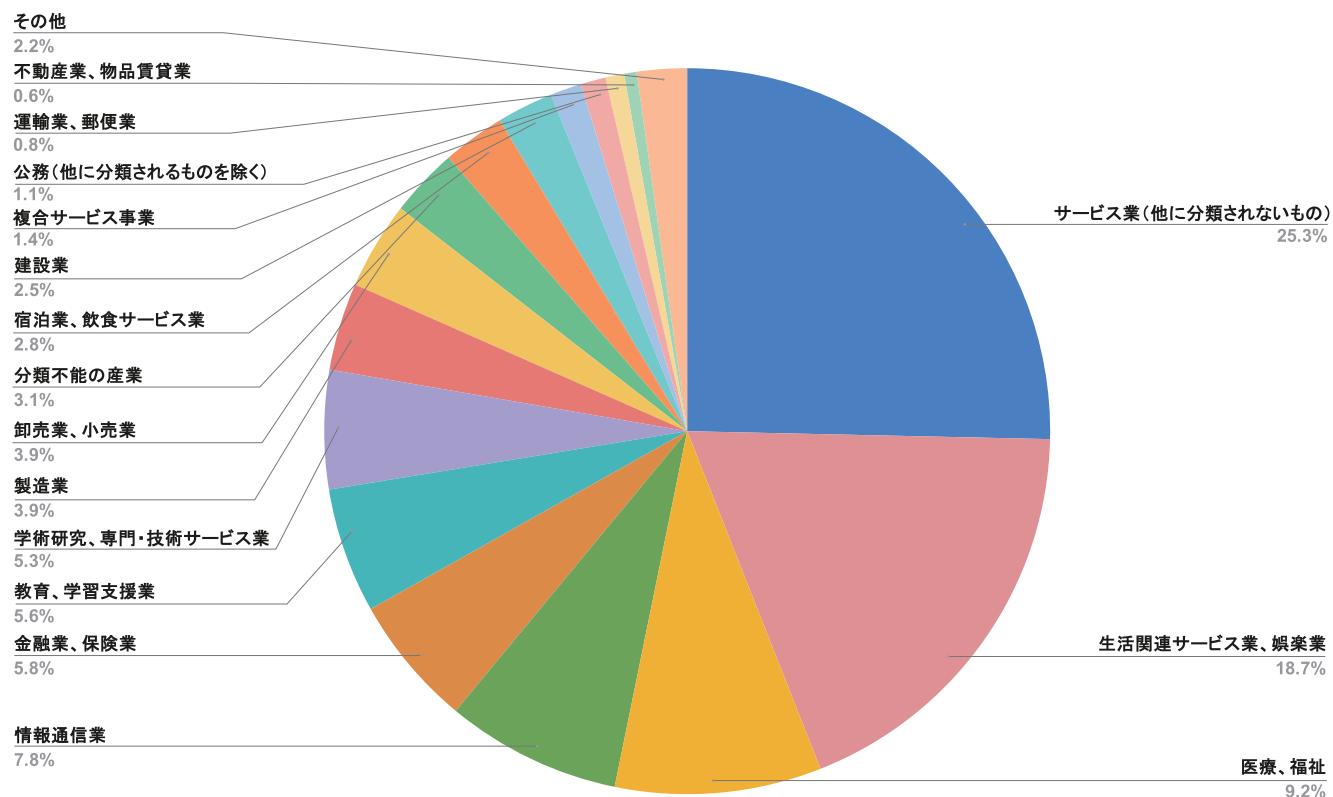
Q1,あなたの年齢をお答えください。



Q2,現在同居している方をすべて選んでください。



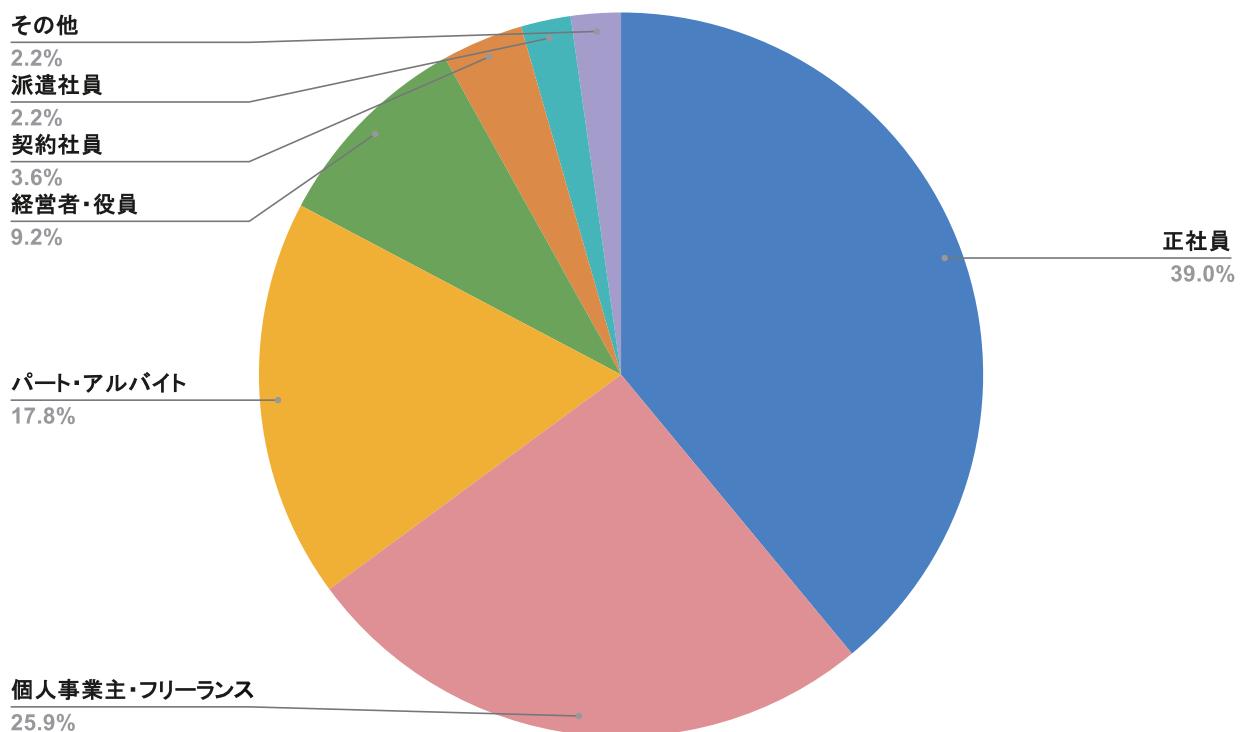
Q3,あなたの業種を教えてください。



「その他」の一例・学生・芸能・マスコミ営業・業務委託事務など。

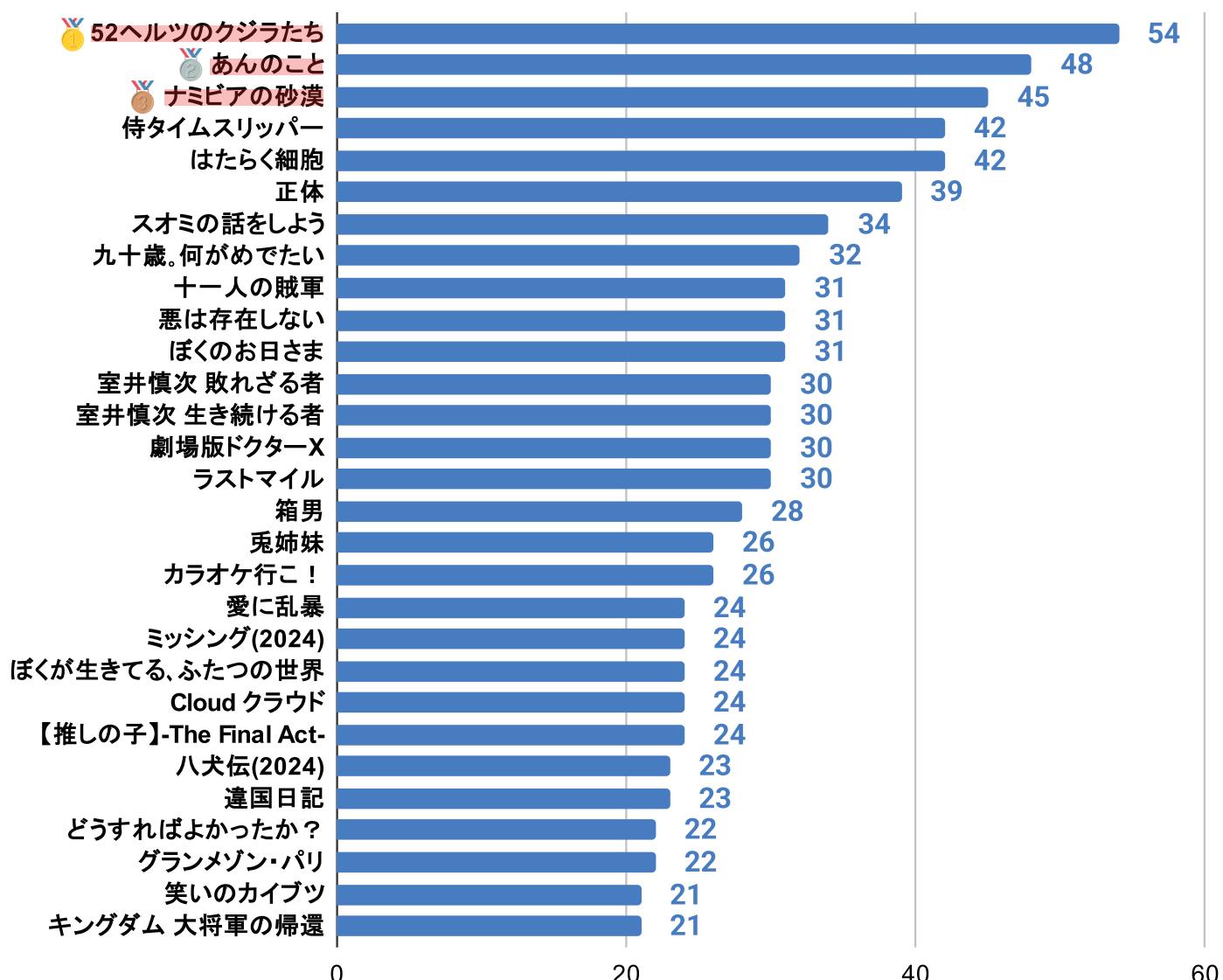
※記述されたもののうち、俳優、マネージャーなど総務省「日本標準産業分類」に分類があるものについてはこちらで適切な分類に振り分けました。

Q4,あなたの業務形態をお答えください。



Q5,2024年劇場公開された日本映画で劇場で観たかったのに観れなかった映画を下記617作品の中から選んでください。(複数回答可)

21票以上獲得作品グラフ

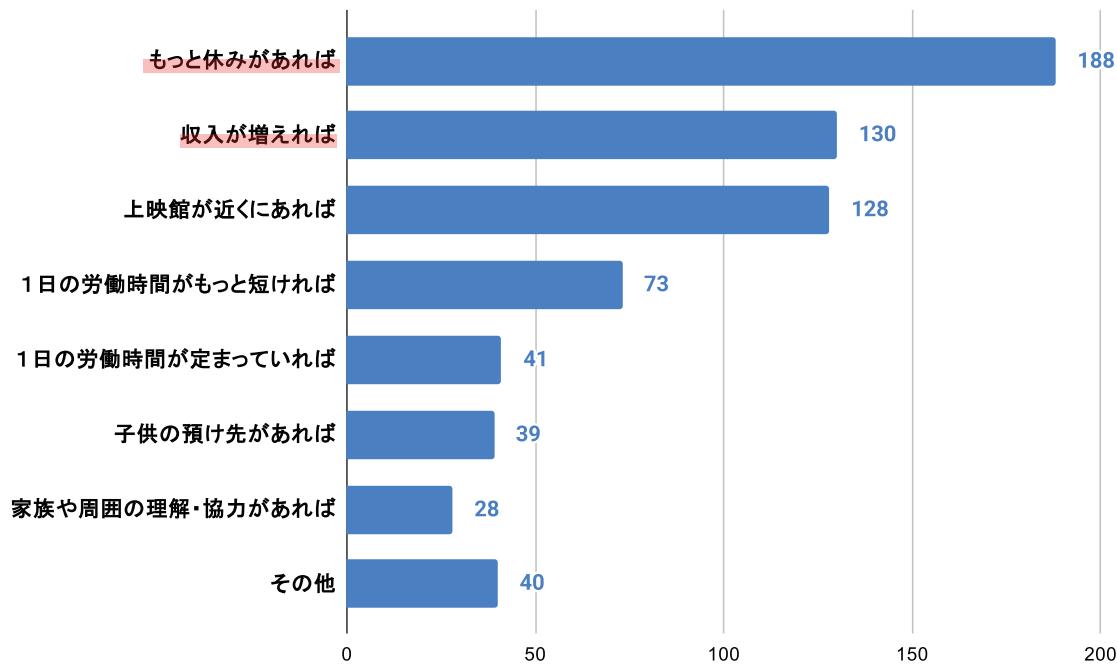


20票～1票獲得の作品は、別紙資料「MME賞2025_【総合】Q5,20票以下作品リスト.pdf」をご参照ください。

※2024年1月1日～12月31日に公開された日本映画617本のリストのうち、401本に投票あり、1本無効。

※【お詫び】作品リストに運営側のミスで日本映画ではない「SHOGUN 将軍」(エミー賞受賞記念上映)が入っていました。得票があったのですが、無効とさせて頂きました。投票してくださった方、失礼いたしました。

Q6,どういった状況であれば観に行けたと思しますか?(複数回答可)



「その他」の詳細

◆上映関連

上映時間のタイミング/行ける上映時間の選択が少ない/上映回数/上映期間がもっとあれば/1作品の上映期間がもっと長ければ間に合ったのに……!と思うこともあります。/自由にできる時間帯に上映していたら/行きやすい時間にやってくれれば(夜遅いのが無理)/上映時間帯が生活リズムと合えば/上映時間が合えば/行きやすい時間帯があれば/平日昼の時間での上映が増えれば/上映回数が増えれば/行けそうな時間に上映時間が合えば/上映期間がもっと長ければ

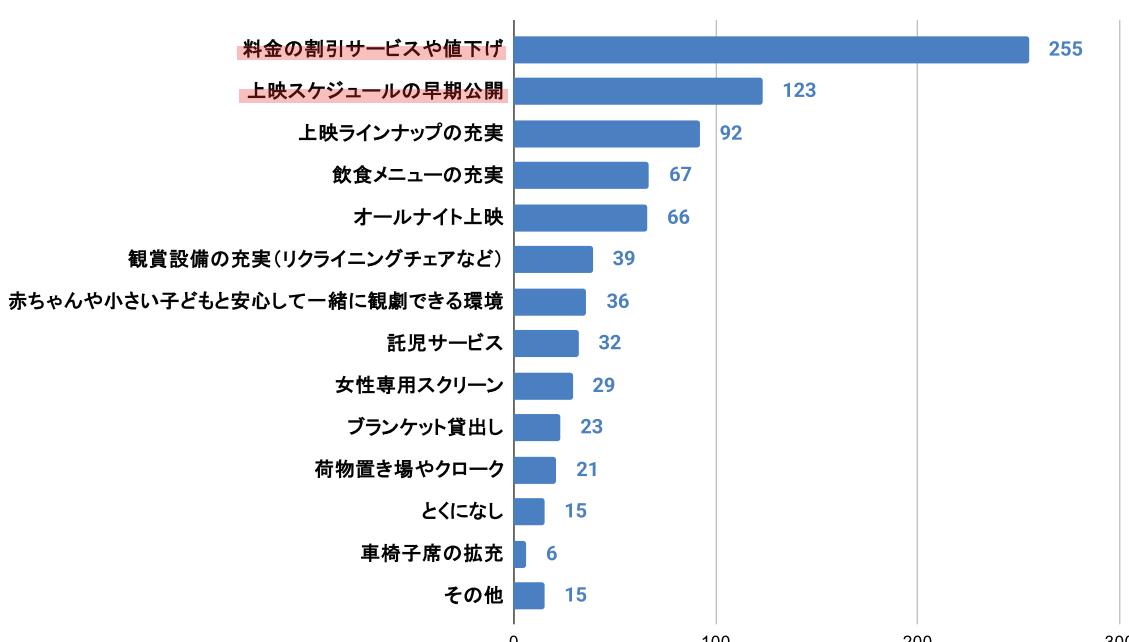
◆生活状況、意識関連

家族との休みの都合が合えば/もっと自分に時間を使ってあげる意識があれば/もっと体力があれば。睡眠不足で集中力が続かなかった/情報をもう少し見るようにこころがけたい。/忘れている/公開していたことを早く知つていれば/元気があれば/タイミングが合えば/映画を見ようという意識が低かった/偶然仕事が被ってしまった。/自分のフットワークが軽くスキマ時間を見つけて映画を観ることが出来ていれば。/ペットの介護がなければ/生活リズムが上映時間に合わない/自分の時間があれば/上映していたことを知らない作品もありました/疲れがとれれば(無理に観に行っても寝てしまう)

◆その他

観たい映画の上映時間をお知らせしてくれるはアプリあれば知りたい/もっと情報が目に入れば。スケジュールや映画館の場所がわかりやすければ。/もう少し安ければ/クレジットカード情報流出への対応が不誠実だった映画館以外でやってくれれば

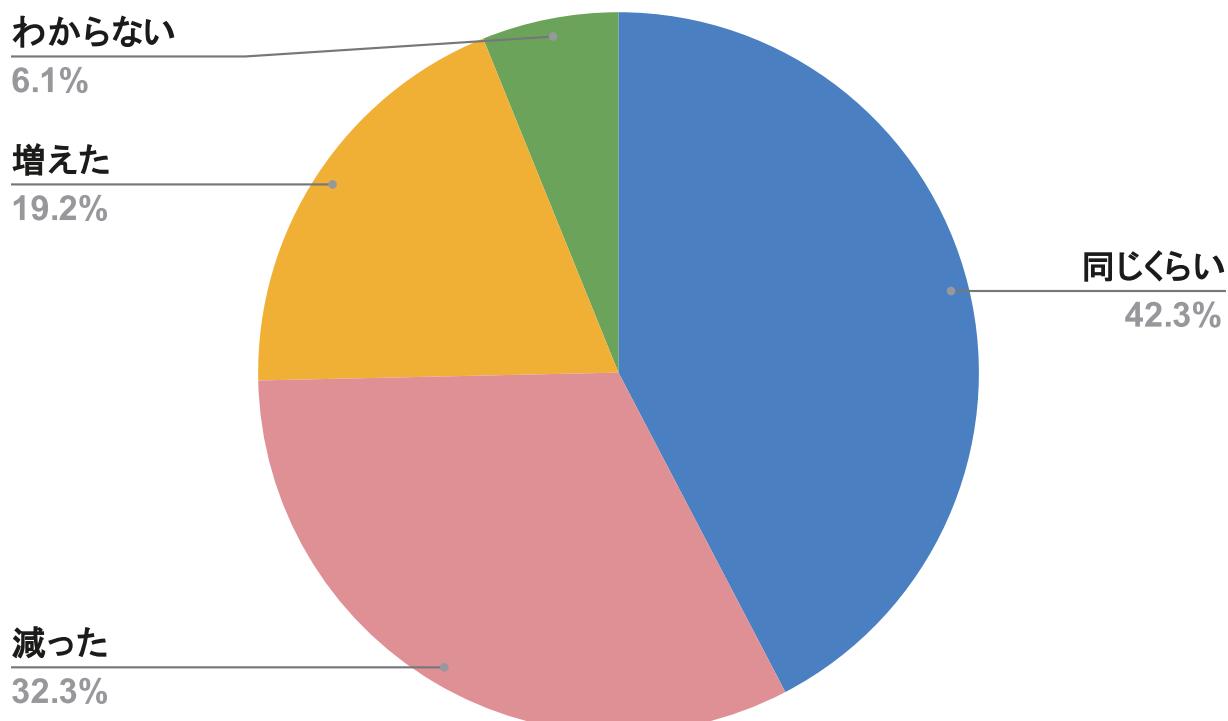
Q7,映画館にあると嬉しいサービスや期待することはありますか?(複数回答可)



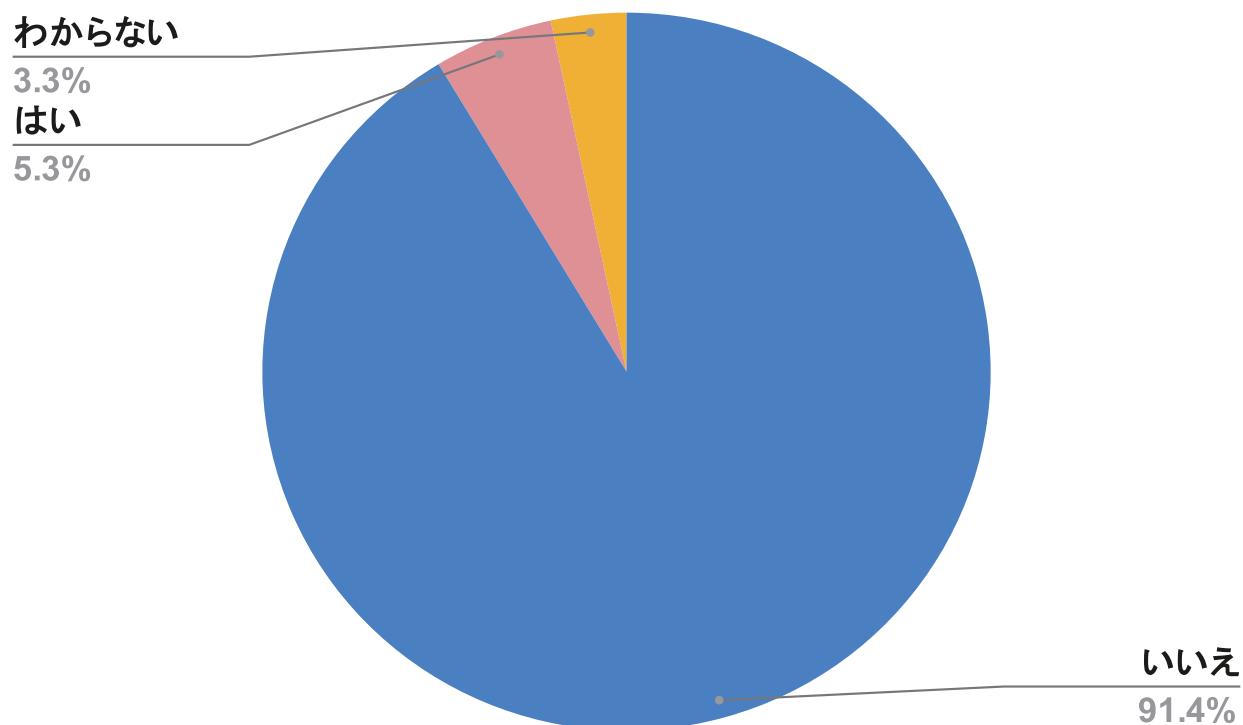
「その他」の詳細

- 01 自宅で見れるようにして欲しい
- 02 声出しOK飲食何でもOKなざくばらんに鑑賞出来る劇場
- 03 未就園児と親子の席
- 04 レイトショーの拡充
- 05 シネコンが複数ある地域に住んでいるが全部同じ作品ばかりなのでシネコンごとに違う作品を上映して欲しい
- 06 観たい映画が行きたい時間に上映してくれるオンデマンドのようなサービス
- 07 シネコンはお客様の入り方でスケジュールが毎週コロコロ変わってしまい予定を立てづらい。二週間は固定の時間で上映してほしいです....。
- 08 行きたい舞台挨拶が直前に決まることが多いので予定を合わせるのが難しい。予約した座席のキャンセルや変更ができたらもっと気軽に予約できてうれしい。
- 09 買い物した荷物や冬場にコートやマフラーなど衣類が邪魔だったりするのでクローケルサービスがほしい!土日休みなので通院後に映画館に行くこともあり薬が入った紙袋やビニール袋のガサガサ音が立ってしまわなければ気になりながらスクリーンに足を運ぶことがあります。
- 10 洋画でもインディペンデントな映画は公開期間が短かったり公開時間が中途半端な時間に設定されていて見に行きにくいと感じます。また大手の映画館は同じ映画の上映ばかりでミニシアターが減ってしまったことも映画館から遠のいてしまったきっかけかと思います。
- 11 駐車場の確保と割引(車バイクともに)
- 12 上映中隣の人がずっとポテトチップスを食べていて集中出来ないことがありました。作品の内容によっては気にならなかったかも?とは思いますが勘弁してよ~と思いました。上映中は音の出ないものを食べてほしい。
- 13 特に親子割引。小さい子連れで行くと鑑賞代に加え飲食代やグッズ代までかかることに躊躇して足が遠のく人もいると思う。乳幼児連れで売店で買ったものを席まで運ぶのも大変なので少しでもサポートとあると助かる人も多いと思う。
- 14 二本立てを増やしてほしい。ロビーに椅子を増やしてほしい。喫煙所があってもいい。座席指定にするなら座席番号を見やすく表示せよ。映画泥棒のCMいらない。マナーの注意呼びかけもいらない。

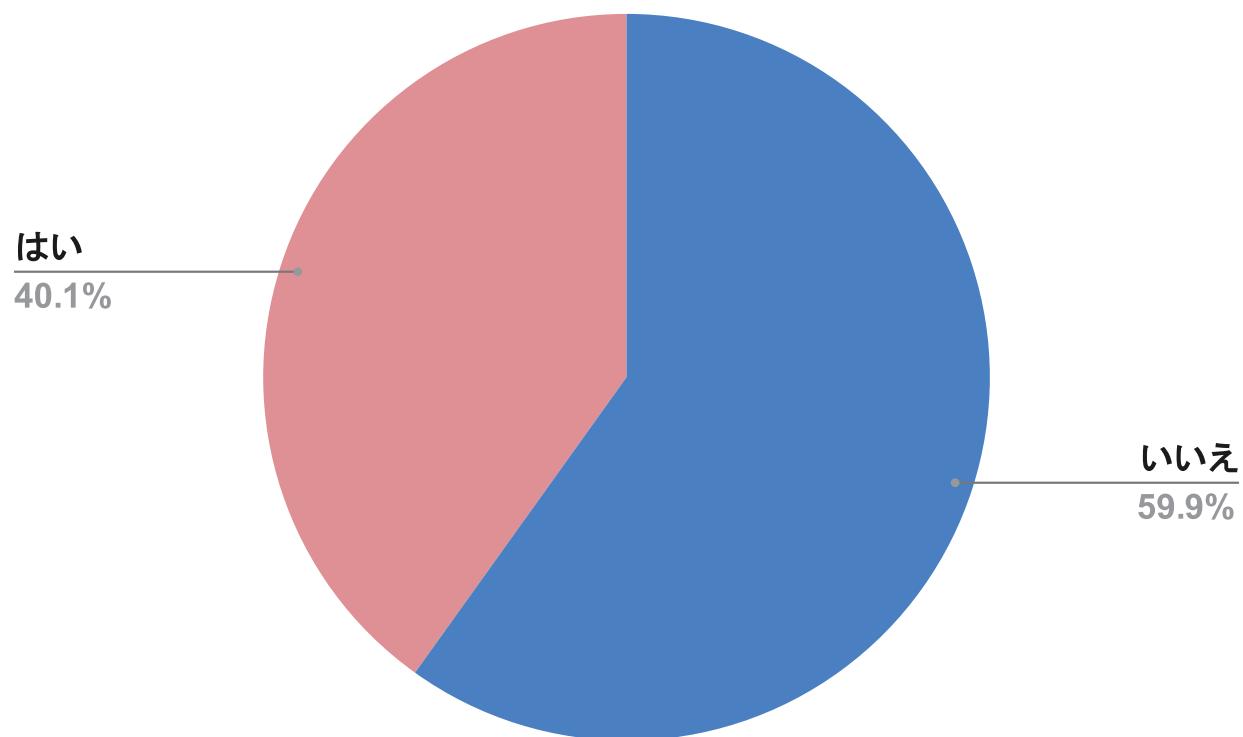
Q8. 2024年は2023年に比べて、体感として映画館に映画を見に行く回数が増えましたか?



Q9,昨年のMME賞にも投票しましたか?



Q10,現在映像業界で働いていますか?



Q11.この映画賞についてのご感想や、別途ご意見があれば自由にご記入ください。

ご記入頂いた内容は、本映画賞の結果発表時にWEBサイト等で掲載させていただく可能性があります。
ご了承の上ご記入ください。

01	最近映画館に行けていなかったので、今年は映画館に足を運びたいです
02	家庭を持つまでは、一人でよくふらっとミニシアター系観に行ったりしていました。今、思うとよく分かんないの観てたなーと。それはそれで楽しかったのですが、今はお金も時間も無駄にしたくないので、安牌の作品を選びがち。良い作品たくさんあるのでしょうかから、もっとアンテナはって、良い映画を観に行きたいです。
03	映画は映画館で観るべきと思っている私でも、現実には週に一本観れるかどうか... 初動三日間の興行収入であつという間に席数が減り、見逃がされてしまう そんな多くの作品に少しでも光が当たるといいなあと思います。
04	たまたまXで見かけて投票しました。おもしろい企画だと思います。
05	リストを見ながら、そもそもどんな映画が公開されているかも知らず、見たいと感じる事もできない自分に気づいた
06	選択肢にばくとパパが無い。タイトルに映画や劇場版は不要。探しにくい。
07	この映画賞を知らなかつたのでしれて嬉しいです。映画は好きだけど子供が生まれてから全然映画館に行かなくなってしまったので見たかった物。で投票出来たことが嬉しく思います。
08	今まで存じ上げずすみません。映画好きなのになかなか観に行くことができなくて気がつくと公開を逃しております。あとから観れば...ということより公開に合わせて劇場で観ることが大事と思っているので、ぜひ機会を増やしてほしいと期待します
09	面白すぎる
10	この映画賞のことを現在まで知りませんでした。ユニークで面白い映画賞だと思いはじめて投票しました。
11	とても素敵な投票だなと思いました。第一回と第二回の結果も見ましたが、わかるなあと思う結果でした。話題にはなっていたけど、上映館が少なかつたり期間が短かつたり、上映スケジュールが観に行けない時間だったり、そんな映画が多いなって。この投票がきっかけで再上映とかあるといいなあと思います。
12	今まで存在も知らなかつたのですが、たまたま広告を見かけました。子供が産まれて、あれも見にいきたい！これも見にいきたい！と思っていたのですが、預け先がなく、周囲に愚痴もこぼせず抱えていたので、この投票に思いをぶつけようと思いました。
13	Yahooの記事でこの投票を知りました。どんな投票結果であれ、映画業界がもっと盛り上がるきっかけになればと思います。ただ、この賞には一部映画でないもの（将軍はドラマ枠では）があるので、投票には甚だ疑問に思う箇所もあります。
14	上位作品の上映などあるのでしょうか、せっかくなので上映機会や映画祭の形で見られると嬉しいです
15	時間がなくて映画が観たいと思っているうちに観ようと思った映画の上映期間が終わってしまい配信だと観る気になれず結局観ないつてことがよくあるので、いい企画だと思いました！
16	出産前は一人で自由に映画を観ていた。出産後は一人の時間を作ることさえ難しくなり、映画鑑賞の優先度が低くなってしまった....。この投票で映画を思い返してみて、やっぱり映画を観に行きたくなった！
17	この600本以上に加え海外作品もあり旧作の上映、映画祭などもあり、世界中でもこんなにたくさんの映画が見られるのは東京のほかにないのではないかと思います。でも、観に行く時間は限られている。ちょっと公開本数が多すぎるかなとも思っています！無理です！
18	この作品リストを作ってる事が凄いです！ 作品名を見ながら思い出せるのでアンケートに答えやすくて感謝。
19	気になる映画はたくさんあるけれど、地方だと上映回数は一回とか、テレビで見る公開日よりも遅かったり。休みの都合見てからだなーと思いつつ、いつのまにか公開していつのまにか上映が終わっている。こちらの賞で潜在的な映画鑑賞への期待が伝わればあんな思います
20	こんな賞があることを知らないで、映画を見られない色々な人の状況を知らしめて見やすい環境になるためにももっと知られて欲しいと感じた。
21	行きたかったのに行かなかつた悔しい気持ちを供養しているようで、回答するのが楽しかったです笑
22	素敵な企画だと感じましたが、男性含む結果にも興味がありますので御検討頂けますと幸いです。
23	このアンケートで、知った気になる映画もあり、好みの映画の情報が得るサービスがあれば良いと思いました。
24	観に行きたいと思う映画があまりない。
25	1年間でこんなにも上映された映画があったことに驚きました。
26	映像業界にいながら、映画館に映画を観に行く機会がかなり減ってしまっていることが、個人的にショックです。お金や時間、気持ちに余裕がないと、なかなか映画に行けなくなってしまいました。
27	改めて、映画館で映画を観に行く時間をもっと作りたい と思いました。
28	思い起こしになりました。
29	今年公開された映画の本数の多さに驚きました。
30	この賞を今回初めて知りましたが、とても良い取り組みだと思いました。最近映画館で映画を観ても、人数が少なく感じていたので、もっともっと気軽に映画を楽しめる日常が沢山の人にはあればいいなと思います。
31	今回初めてこの賞を知りました。それで1年でこんなにもの映画があると知りました。
32	面白い試みだなと思いました。頑張ってください！
33	この映画賞のプロジェクトによりほぼ全員が頷けると思います！子供の託児所やオールナイト上映があると本当に嬉しいです。姉に幼い子供がいてどちらかが子守をし、1人で観にいく。という方法でしか行くことができません。できれば一緒にみたいです。全国の地方や映画館が少ない地域もっと小さくても良いので小劇場を増やして欲しいです。ちなみに私の地域周りは車で約45分、電車で1時間半位の一箇所のみです！！！気軽に観に行きたいです。やはり時間がなくて上映時間がほぼ1日1回のみの上映だと時間が決まっていて、朝イチか、レイトショーのみはかなり観に行くのは難しいです。

34	一年間に作られている作品の数に驚愕しました。 知らない作品の方が多く、普段の生活の中で知り得る作品はほんのひとつまみにしか過ぎず、より多くの作品がもっと多くの人の目に触れる為の土壤が整うと良いなと痛感しています。 熱い思いで作っても、観る側に届かなければ意味がありません。 作った物が届いてこそそのエンタメです。 広告宣伝費を掛けずにそれが叶う世界になることを切に願います。
35	映画館という場所が好きです。永遠に残していって欲しい場所です。それなのに、なかなか映画館に足を運べていないのは、とても悲しいです。この賞が映画館に足を運べるきっかけになりますように。
36	今でもたくさんの良い映画が創られていると思うのですが、その魅力を伝える情報は明らかに少ないです。私のような定年退職後の中でも、日々の予定はいっぱいあるので、よほど魅力的で、見た間違い無いと確信できないと時間を割くことができません。これを機会にもっと気をつけててんなを貼ろうと思いました。
37	見たい映画ですので良い賞だと思います。
38	おもしろい取り組みをされていますね。映画自体は好きですが、地方の映画館なのでシネコンではなく上映作品も少なく、どうしても足が遠のいてしまいます。でもあの大画面、臨場感は映画館でしか味わえないので、やっぱり映画館が好きです。
39	『在りのままで咲け 在りのままで進め』という作品が、自らの力で道を切り拓いていく女性の底力を描いた作品だと聞き気になりましたが観れませんでした。『在りのままで咲け』しか選択肢がありませんでしたが『在りのままで進め』の方も見逃しています。
40	初めて知りました
41	面白い試みだと思います。
42	今回初めてこの映画賞を知りました。作品リストを見ながら、あーこれ観たかったのになあ！！と思い返す機会にもなりました。
43	面白い企画だと思いました
44	このような映画賞があることを恥ずかしながら存じ上げず、この度教えていただき初めて投票させていただきました。この賞自体がもっと広まってくれると良いなと思っています。わた自身も口コミで広げたいと思います！映画館にたくさん的人が戻ってきてくれることを願う、映画好きの1人です。
45	今回初めて投票させていただきました。観たいのに観れなかっただ作品があるかと口頭で聞かれても、ぱっとは思いつかなかったものが、公開作品の題名を見ると、あー！と思うものが多く新しい気付きになりました。ただこの映画賞で受賞できる作品は、多くの人の目に留まるだけの宣伝ができた作品であり、それだけお金をかけることができた作品だと感じました。もちろん評判で広まっていき耳に届くこともありますが、宣伝の大切さや出演者のフォロワーの数の大切さについても改めて考えさせられました。
46	この賞が、より多くの女性たちが映画に足を運ぶきっかけになること、たくさんの方にこの活動が伝わることを願っています。
47	今年はじめてした試みで、素敵だと思いました。 ここに羅列されている作品で改めて知らないものもあったのでみたいなと思いました。
48	この結果が、何か有効に使われたら良いと思う
49	初めて知りました。面白い映画賞ですね。
50	2024年の1月に出産をしたのですが、2024年の邦画リストを観て、こんなに沢山の邦画を観逃してしまったんだなと痛感しました。 2023年までは少なくとも週に一回は映画館に行っていたのに、子どもができた瞬間、映画館がものすごく遠い場所になってしましました。ミニシアターでも東宝のベイビークラブシアターのように、赤ちゃん連れOKの上映が増えたら、もっと観たい邦画が観れるのになと思います。
51	今年も公開本数が多すぎてしまらない映画が多い。小さな子供がいると映画をみることも諦めてしまい、観たいという気持ちが前回よりも減っていることに気づいた。映画を見ないと予告編もみないので新しい映画を知るチャンスも減ると思う。この映画賞が広まることでみんなが映画館に足を運ぶきっかけになるといいなと思う！
52	労働環境の改善、やはり周囲の家族、仕事仲間の意識改革が必要だと感じました！
53	洋画作品も是非入れていただきたいです！こういった活動が映画業界の盛り上げに少しでも繋がるといいなと感じました。この行動力が素晴らしいと思いました。
54	面白い試みだなと思い投票とアンケートに答えました。 こちらの人気上位作は配信とかで見れると尚注目すると思います。 上位ランキング発表と発表された作品は監督、脚本家をはじめとする製作陣によるコメントなど入ると文面から興味が湧く人へのアプローチになるかとも思います。
55	応援しています
56	この映画賞について知らなかったので、周りの人たちに広めていきたいです。 映画館で映画を観ることは、自分という人間をより豊かにことができる大切な時間です。 いま子供がいて、前より映画館に行く機会は減っていましたが、子供といつか一緒に映画を観ることが楽しみです。 子供向けの映画ではなく、さまざまなジャンルの映画で子供と一緒にみられる環境があればいいなあと常々思っています。(子供が騒いでも気にならない環境)
57	知人から教えてもらうまでこのような映画賞があることを知りませんでした。結果が子育て中や障害を持つ方が少しでも映画館へ行きやすくなることにつながればよいと思いました。
58	映画賞を受賞した映画は観てみたいと思います。
59	「観たいのに観れなかった」はいつも呟いている言葉です。これが賞になるとは何だろう？と不思議に思いました。 なるほど、こんなことから女性の労働環境が見えてくるのかと、発想の面白さに驚きました。映画はただの趣味だけど社会の課題につながっているんだなあと、新たな視点を持つことができました。

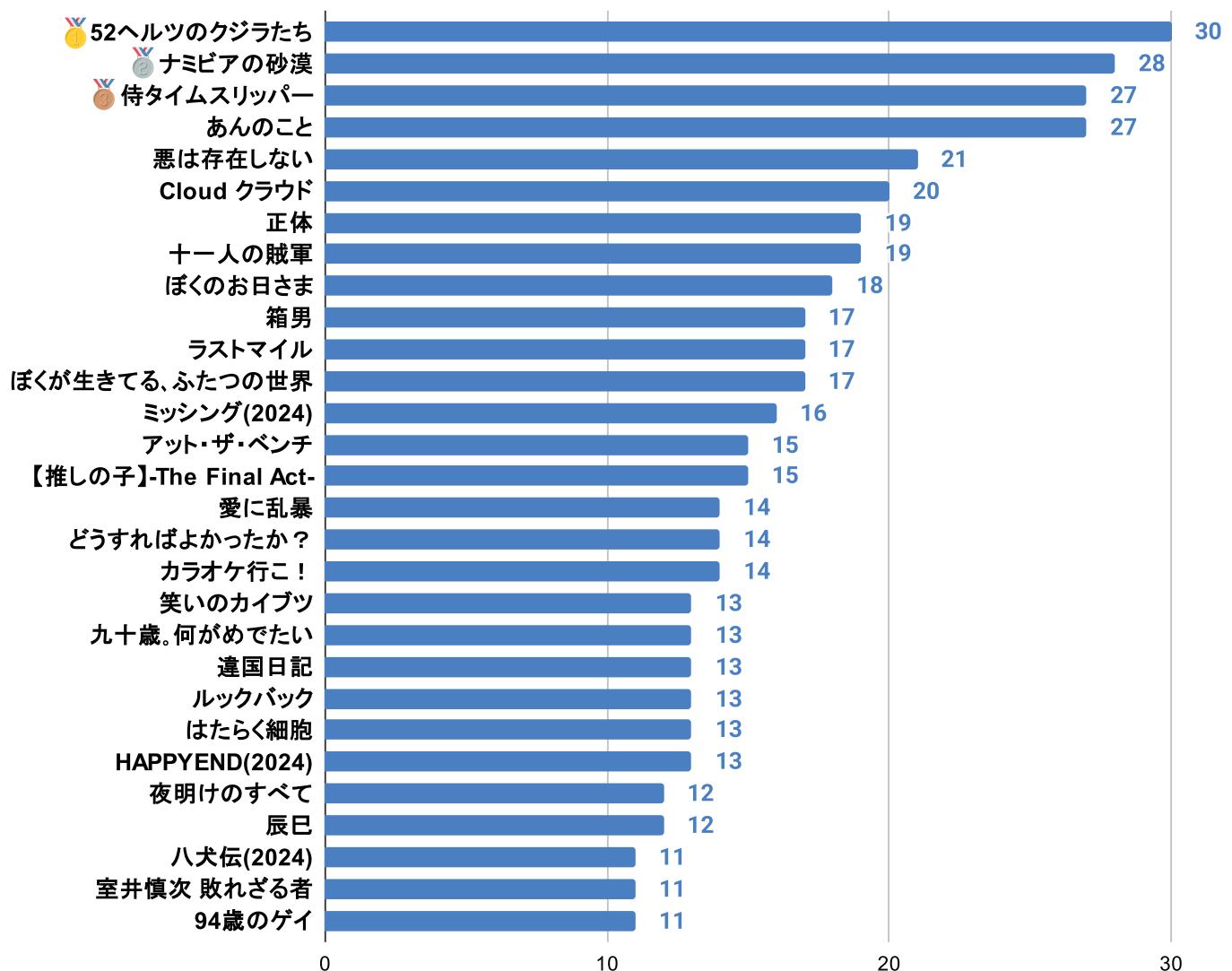
Q12,映画賞の投票結果はswfiのWEBサイトやSNSで発表します。メールでのお知らせをご希望の方は
メールアドレスのご記入をお願いいたします。(短文回答)

37件の回答

【映像部門賞】

Q5,2024年劇場公開された日本映画で劇場で観たかったのに観れなかった映画を下記617作品の中から選んでください。×Q10,現在映像業界で働いていますか?「はい」と答えた方

11票以上獲得作品グラフ



10票～1票獲得の作品は別紙資料「MME賞2025_【映像部門】Q5,10票以下作品リスト.pdf」をご参照ください。

◆開催趣旨「すべての働く女性が映画館に足を運ぶきっかけにつながる映画賞」

MME賞は、当初、映画業界で働く人の多くが感じている、「映画が好きで映像業界に入ったのに、忙しくて映画を観に行く時間がない」という皮肉な現状をあえて楽しめる映画賞にしてしまい、映像業界外の方にも知ってもらいたいという気持ちで立ち上りました。

「観たいのに観れなかった映画」に投票する映画賞ならば、そういった人たちでも当事者になれる。そしてジェンダーバランス調査によると、受賞者や審査員の女性比率が低いので、ならば最初から女性だけで作り上げよう!と、映像業界で働く女性で作る映画賞として開催してきました。

2年開催してきた中で、「映画館と距離ができているのは映画業界の女性だけではない」というお声をいただいたことで、今回は業種に関わらず「すべての働く女性」に対象を広げました。

この賞はただ投票するだけではなく、労働環境の改善や、映画館に行く機会を増やすことに繋げたい、という思いで、投票時に「どういった状況であれば映画館に行けたか」という質問に答えてもらいそれを可視化することに取り組んでいます。興行収益がもっと向上し潤えば、映画制作の現場も潤い、私たちが本来目指す、「子育てしながら働く映像業界」という目標に近づくことができるという思いからです。

映像業界で働く女性たちの投票の部門賞は残しつつ、あらゆる業種で働く女性たちが「映画館で観たいのに観れなかった」映画はなんだったのか、どういった環境であれば映画館に行くことができたのか、様々な女性達の『観れない』事情や思いを知る事で、女性たちの労働環境が良いものになるように、今後の映画界がより良いものになるように、今年も調査を兼ねた映画賞を開催いたしました。

さらに、働く女性が観たい映画を何本でも映画館で観れるような労働環境へと変わる未来を目指して、この『観たいのに観れなかった映画賞』がなくなることを目標としています。

(観たいのに劇場に観に行けなかった悔しさを表すため、協議の結果「ら」ぬき言葉である「観れなかった」を使用しています。)

◆主催団体概要

NPO法人映画業界で働く女性を守る会swfi(スウフィ)は、映画業界を「子供を育てながら働く業界にしたい」「映画をつくるたのしさを実感でき、入りたい、続けたいと思える業界にしたい」という思いから誕生しました。私達は、まず女性が抱える悩みや問題点をみんなで共有しながら、労働環境の改善を目指し、それにより女性だけに限らず、芸能・映像業界で働くあらゆるジェンダーの人が安心して働くようになることを目標にしています。

女性スタッフがどんどん増えている今、自分たちの置かれている状況をみつめて、意見交換ができる場をつくりたい。自分たちの心地の良い映像業界をつくっていきたい。

女性スタッフが安心して働き、安心して産休育休を取れるようになり、労働環境が改善されれば、女性だけでなくあらゆるジェンダーのスタッフが働きやすい、持続可能な世界になっていくはず、という思いで活動しています。スタートアップメンバーは子育て中の女性スタッフに限らず、男性スタッフ、子供のいないスタッフ、妊娠を機に業界をやめた女性など多様なメンバーがおり、ジェンダー問わず賛同してくださるメンバーで活動を行っています。

◆活動内容

設立すぐに、「コロナ禍における芸能・映像業界で働くスタッフ・キャストへの影響実態調査」を実施。2023年には、第1回「観たいのに観れなかった映画賞」開催。action4cinema公開「日本版CNC、なぜ必要?」動画内に、swfi実施の[映像業界]なぜやめた?アンケート調査の結果が引用される。連合Wor-Qアドバイザリーボードメンバーに代表SAORIが参加。フリーランスサミット登壇。12月には、ハラスマントセミナー開催。

正会員登録者は、フリーランス協会の提供するベネフィットプランへの加入特典プランあり。

WEBサイト内での相談窓口の設置、気軽に意見交換ができるオンライン談話室を毎月開催、フリーランスで映像業界で仕事をするための心得とストレスチェック票を記載した「心得カード」の作成・配布、専門学校での講演など、働きやすい映像業界にするために、啓発活動を中心に行ってています。

・団体名:特定非営利活動法人映画業界で働く女性を守る会

Support for Women in the Film Industry.(swfi)

・URL :<https://swfi-jp.org>

・代表理事:SAORI

・設立日:2020年1月8日

・お問い合わせ: info@swfi-jp.org

